

## ◆日中韓大学生による書の交流を開催！

2016年東アジア文化都市の寧波市（中国）と濟州特別自治道（韓国）から書を学ぶ大学生らが訪日し、奈良市の伝統工芸である墨づくりや筆づくりを体験するとともに、5月25日（水）には奈良県文化会館において、奈良教育大学の学生たちと書作品の共同制作を行いました。

「日中韓共通文化『漢字』から読みとるそれぞれの文化」をテーマに、3か国の共用漢字をまとめた「日中韓共同常用八百漢字表」から学生たちが好きな字を揮毫する一字書作品や、東アジアの共通文化である木簡を使った作品など、各国の文化を体現した書作品を制作。学生たちは身振り手振りも交えながらお互いコミュニケーションをとり、それぞれの作品に対して意見交換を行っていました。

参加者の一人、寧波職業技術学院2年生の朱翊さんは、「日本語は漢字やひらがな等、表記の種類がいろいろあって面白い。中国の漢字に比べて、ひらがなは柔らかい字体で書きやすい。」と、共通文化の『漢字』を通して日本との違いを語っていました。

最後に3か国の参加者全員が自分たちの未来をイメージしながら、各国の文字でメッセージ書に寄せ書きをしました。

### ※日中韓共同常用八百漢字表

日中韓で共通して使用される漢字、808字をまとめたもの。  
2014年に「日中韓賢人会議」の提言に基づいて選定された。



3か国の学生が協力してメッセージ書を作成



天平衣を着て木簡の書体をイメージして墨書



寧波職業技術学院2年生の朱翊さん



記念に1枚 ばしゃり

## ◆第11回済州フォーラムが開催、第2回実務者会議も！

5月27日(金)、韓国の済州国際コンベンションセンターにて第11回平和と繁栄のための済州フォーラムが開催されました。

このフォーラムは東アジアの持続的な平和と繁栄のための未来ビジョンを討議する場として毎年5月に開催されており、今回は文化セッションのプログラムの一つとして「東アジア文化都市実務責任担当官討論」が行われました。

討論会には、奈良市、寧波市、済州特別自治道のほか、過去の東アジア文化都市開催都市である中国・青島市、韓国・光州市、清州市も参加し、東アジア文化都市間の交流活性化の方策について議論を交わしました。



フォーラムで奈良市の取組を紹介



実務者会議での奈良市の発表

また、フォーラムに先立って26日(木)には「2016年東アジア文化都市」第2回実務者会議が開催され、各都市から今後の文化交流行事についての説明を行いました。奈良市からは青少年交流事業や文化交流事業、奈良マラソン、奈良市クロージングなどについての説明を行うなど、3都市間での今後の取組について具体的な意見交換が行われました。

## ◆広報連携事業のご案内

奈良市食育フェスタ 2016 ～大人も子どももワクワク体験！食で元気になろう～	6月5日(日)午前10時～午後2時	はぐくみセンター
環境フェスティバル 2016	6月5日(日)午前10時～午後1時	環境清美センター

担当：奈良市東アジア文化都市推進課  
電話：0742-27-0120  
FAX：0742-27-0121  
Mail：[culturecity-nara@city.nara.lg.jp](mailto:culturecity-nara@city.nara.lg.jp)



公式HP



Facebook



Twitter